



# 新富士ロータリークラブ会報

SERVE TO CHANGE LIVES

— 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために —

R I 会長 シェカール・メータ  
第2620地区ガバナー 小林聡一郎  
新富士 R. C. 会長 渡邊勝英  
幹事 森 美城

事務所：富士市平垣本町8番1号  
例会場：ホテルグランド富士内  
TEL(0545)61-0360  
例会日時：毎月第2・3・4火曜日  
12:30~13:30



## 第1400回例会 (2021. 8. 3)

### ガバナー公式訪問(新富士・富士合同例会)



司会 森 美城幹事

ソング 「奉仕の理想」

四つのテスト唱和・本年度新富士RCテーマ唱和

RIテーマ唱和

たいと思います。

本日は宜しくお願い致します。

#### 会長挨拶

代読 潮来克士副会長

本日は、国際ロータリー第2620地区小林聡一郎ガバナーをお迎えしての、富士・新富士2クラブの合同例会となります。



2021-22年度のクラブ会長を務めさせて頂くにあたり、昨年度からのRLI（ロータリーリーダーシップ研究会）パート1、パート2をはじめ、PETS（会長エレクト研修セミナー）、地区研修・協議会そして今年度のロータリー財団セミナー、地区会員増強維持セミナー等に参加いたしました。全てZoomによるオンライン開催でした。

移動の手間が無く、自宅で気軽に受講できるというメリットがある反面、臨場感による一体感・緊張感に欠け、私にとってはまだ馴染みが薄く何となく物足りない感がありますが、特にコロナ感染症下の対処としてのZoomによるオンラインミーティングは大変有効な方法であると思われまます。

これにより、小林聡一郎ガバナーにはモニター画面越しで何回もお会いしておりましたが、本日ようやくリアルな会長とお会いして生の声をお聞かせ頂けることを大変楽しみにしておりましたが、私事により実現出来ません。誠に残念であります。

この分、本日出席の会員の皆様に対しては、ロータリーに対するお考え、本年度の地区の方針そして将来のロータリーのあり方等について、リアルによる小林聡一郎ガバナーご本人から、直接熱く語り掛けて頂き

#### ゲスト

国際ロータリー第2620地区

ガバナー 小林聡一郎様（甲府北）  
地区幹事 中尾 均様（甲府北）  
ガバナー補佐 太田 義隆様（富士）



#### 出席報告

例会回数	計算会員数	出席者数	欠席者数	MU	出席率
第1400回	18	12	6		暫定66.66%

#### 《本日の欠席者》

赤渕 浩雄君 川村 武君 久保田元久君  
高橋 孝行君 高木 宏君 梅谷 明子君

#### 《他クラブへの出席者氏名》

木村 憲司君

#### 私のスマイル

和田 三郎君 ガバナーの来訪を歓迎します。  
長原 幹君 小林聡一郎ガバナーを歓迎し、多趣味のこと、卓話が楽しみです。  
本多 脩身君 ガバナー公式訪問を祝して。

#### プログラム予定

9月7日(火) クラブフォーラム  
(おきがる)

9月11日(土) おきがる無料相談所

堀井 健治君 ガバナー公式訪問よろしくお願ひし  
ます。

木村 憲司君 ガバナーの訪問を歓迎いたします。

渡邊 哲男君 ガバナーの来訪を祝して。

潮来 克士君 小林ガバナー、中尾地区幹事、太田ガバ  
ナー補佐、本日はよろしくお願ひします。

小山 哲君 小林ガバナー、中尾地区幹事の来訪を  
歓迎します。



## 国際ロータリー第2620地区 ガバナー公式訪問

国際R C第2620地区ガバナー  
小林聰一郎様 (甲府北R C)

### ■共存の中にこそ自分を生かす道がある

私たちはクラブをかけがえのない場と思い、例会を友愛や学びの場として尊く思ってきました。そして互いを思いやりながら、その心を地域や世界に向けて視野を広げ、活動を広げてきました。日本的な感性でそのようなロータリーを形成し発展させてきたのだと思いますが、日本という風土に見事に適合したロータリーだと思ひます。

一方世界的には、奉仕活動を主体にロータリーを考える傾向にあり、ロータリー財団のポリオ根絶を始めとする取り組みのように、より多くの会員でより大きな奉仕活動を目指すこととなります。実際世界では、それだけ多くのニーズが存在し、ロータリアンの支援を必要としていることも現実です。

ロータリーには最高絶対の単一概念が存在しません。常に「奉仕と親睦」「利己と利他」のように相対的に考えることを要求されますので、一つに決めつけるのではなく、日本的感性のロータリーと奉仕活動の世界のロータリーとを、どのように考えるのかということになります。

でもこれは今の私たちにとっては、相反することではありません。どちらか一方のロータリーしかないのではなく、その両方のバランスを上手にとりながらクラブに軸足を置いて、地域や世界で奉仕活動をしているという姿ではないでしょうか。当然クラブや例会を自己研鑽の機会と捉えてもいるでしょうし、人格形成の場とも思ひているでしょう。そしてそういう自分を他者のために活かすことも大きな使命と思ひているのだと思ひます。一人では生きられない共存の中にこそ自分を生かす道があるということだと思ひます。

### ■R I 会長テーマ「SERVE TO CHANGE LIVES」

今年度のシェカール・メーターR I 会長はテーマに「SERVE TO CHANGE LIVES 奉仕しよう—みんなの人生を豊かにするために」を掲げられました。そしてキーワードは「GROW MORE DO MORE」で、若い世代と女性をロータリーに迎え入れて会員基盤を強くし、人々の人生が豊かになるよう奉仕活動をしましょう、と要請されました。世界的なニーズに応えるロータリーの傾向に合致した年度テーマだと思ひます。

地区においてクラブにおいてこの要請をどのように具現化するのかということ、会員基盤の強化については私なりの取組方策を提示させていただき、ロータリー奉仕デーについては各クラブに計画・実施していただくことにしております。会長始め会員皆さまのご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。

### ■Onlineで新たなつながりを

ワクチン接種が進んでいるとはいえコロナ禍で視界不良のクラブ運営になりますのでご苦労されると思ひますが、クラブに軸足を置いた例会と奉仕活動のバランスを上手にとって、会員相互の連携を強め、地域や世界で奉仕活動をしてくださるようお願いいたします。

コロナ禍を経験した私たちは、Onlineでの新たな繋がり方を手に入れました。Online開催の地区RLIは何回もの実績を礎として、全国的にもトップクラスと高評価されていますし、各クラブにおいてもハイブリッド例会やOnline例会なども行われています。窮屈で不自由なコロナ禍でも人と人との繋がりには有効な方法ですので活用いただきたいと思います。

### ■ロータリー未来形成 (Shaping Rotary's Future)

今年初めにRIは「未来形成 (SRF)」という新たなプラン概要を提示しました。主には2030年から始める管理方法改革のためのプランで、2022年4月の規定審議会での審議対象になると言われています。現在分かっているのはここまでで、これから提示に対しての意見を取り入れながら形成されていくことですから、具体的にどのようなものになるのかは現状でははっきりしません。しかしこのようなロータリーの未来に向けての取り組みが始まっていることだけのご承知置きたいと思ひます。今年度これがどのように動き、地区としてどのように対処していくのかも手探り状態ですが、将来の地区にとって不利にならないような検討だけはしていかなければならないと思ひます。

クラブ会長、幹事を始め、会員の皆さまと一緒に、本年度の第2620地区が「GROW MORE DO MORE」出来ますよう、ご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。

